

No.33



相生

高砂高校同窓会報

令和7年1月20日発行

編集・発行

相生会

兵庫県立高砂高等学校同窓会

高砂市高砂町朝日町2丁目5番1号

TEL (079) 442-2371

FAX (079) 442-2373

takasago.aioikai1923@gmail.com



相生会会員数 (令和6年12月現在)

高女・併中	1,355
高等学校	25,674
旧職員	645
準会員 (在校生)	585
会員総計	28,259

ご挨拶



相生会会長
西中 亮二
(第17回生)

同窓会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は高砂高校並びに同窓会に対しご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は母校が創立百周年という記念すべき年であり、式典においては能高砂が上演され、またジャズの演奏がおこなわれるなど、いかにも高砂らし

ご挨拶



校長
上出 正彦

相生会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より兵庫県立高砂高等学校に対し、絶大なるご支援をいただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

さに溢れた立派な式典が挙行されましたことを改めて感謝申し上げます。

その百周年という事業年度は式典をもって終えたのではなく、区切りとして本年度の末までとされており、いましばらく事業の実施が待たれるものや、事後の整理などもあり、学校や関係先生方にもいろいろのご心労をおかけしているところです。

高砂といえば昔ならだれもが知っている謡曲高砂の発祥の地であります。現在ではその知名度も薄れ、遠方の方に場所を説明するのにも明石の西とか、姫路の東のように苦労します。

皆様は「たかさごやー・・・」とはじまる部分はよくご存じだと思いますが、その部分は場面転換に謡われるもので、なぜそこが有名になったのかは

また、昨年（令和5）度は創立100周年に際し、多大なご支援ご協力を賜ったこと重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、コロナ禍もようやく一段落し、学校行事等も以前の状態に戻ってきました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響は依然として学校現場に影響を落としており、予断を許さない状況が続いております。

そのような中、令和6年3月には189人が卒業し、大学・短大・専門学校等へ164名が進学、17名が就職、5名がその他へと、それぞれの進路に向かってこの学び舎を巣立っていかしました。そして、2月のスポーツ系・

別にして、高砂を船出した神主が住吉に到着するまでの短いくだりです。

世阿弥の作は必ず現地に行き、場所を下見し構想をねったということほど、の作品をとつても判明してはいますが、「高砂」もその例にもれず確かにそうだなという個所がいくつもあります。長くなりますので別の機会にします。が、そこで気づくのが「播州弁」です。皆様も日常で気が許す時には播州弁で話しておられると思いますが、実は泉州の河内弁とそっくりなのは気づいておられましたでしょうか？

なぜ大阪く神戸を飛ばして泉州と播州が？それは昔は主要な交通手段が船だったからです。今は陸路をイメージしますが、圧倒的に海路が早くて大量の荷物を運べて有利な手段でした。こ

看護医療系を対象とした特色選抜で40名、3月の複数志願選抜入試で160名の計200名（男111名、女89名）の生徒が令和6年4月に第79回生として入学しました。また、部活動においても、柔道部では第18回近畿ジュニア柔道体重別選手権大会女子個人ベスト8、野球部では秋季兵庫県高等学校野球大会播磨地区予選にて勝ち上がり、第一代表として秋季兵庫県高等学校野球大会に出場。男子バレーボール部では、第77回近畿高等学校バレーボール優勝大会出場、第10回近畿ビーチバレーボールジュニア大会近畿ベスト7入賞。男子バスケットボール部では、全国高等学校バスケットボール選手権

こで重要なのが汐の流れで、播州から引き潮にのれば泉州に到着するということです。それにより人的物的な交流が盛んにおこなわれ、言葉も交流し、河内弁と播州弁がつながると想像できると思います。

こういった面白いなという面からでも能・謡曲に親しんでいただき、謡曲にゆかりのある高砂高校の校名をさらに宣揚していただきたく思います。

校章にも松が象られ、平和と長寿のシンボルとなっています。お互いが相和し長寿でありたいと願っております。引き続き高砂高校相生会への変わりぬご支援をよろしくお願い致します。

兵庫県予選で5位入賞。ジャズバンド部ではジャパンスチューデントジャズフェスティバルで神戸市長賞（グランプリ）を受賞する等、めざましい活躍を見せてくれました。その他の部活動につきましても限られた条件の下、一生懸命活動に取り組み着実に成果を上げています。次の100年に向けて幸先の良いスタートの年になりました。

最後になりましたが、これまでご尽力いただいた同窓生をはじめ皆様に感謝するとともに、これまでの100年の歴史を礎に、高砂高校の新たな歴史を刻んで参ります。これからもより一層のご支援とご協力、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

第11期(昭和34年)卒業3年4組同窓会開催



今回は2019年の開催でしたが、コロナ禍の影響もありやっと10月12日掲題クラス会をグリーンヒルホテル明石にて行うことが出来ました。

卒業後65年目のクラス会で満年齢83〜84歳の高齢となったこともあり前回参加者が男性14名女性7名総勢21名でしたが、今回は男性11名女性3名計14名の参加でした。

遠くは広島・神奈川・千葉など全国からの参加を得て近況を報告しあい再会を喜び合いました。最後に校歌を全員声を張り上げて斉唱し65年前の高校3年生に戻りました。今回は米寿を迎える年にお祝いを兼ねて「また、元気に会いましょう」ということになりました。

以上簡単ですが、お礼方々ご報告まで。

幹事・大歳信夫

佐藤組、ラスト同窓会か?!

皋月晴れのさわやかな朝でした。子どもの日というのに加西市の屋根上には鯉のぼりの勇姿は見られず、大きな気球が3機、青空を悠然と舞っていました。

5年ぶり5回目の同窓会の日です。高砂文化会館2Fの「ーちゃん」に集合。冒頭、故人となられた恩師佐藤先生と我々の良き理解者であった奥様、級友5人への冥福を祈り、黙祷を捧げました。初参加者2人もすぐに溶け込み、当店女将の特別メニューに舌鼓を打ちながら、55年前にタイムスリップした話で盛り上がりました。その後、それぞれの近況報告に移ると現実的生々しい医療の話に集中。ほとんどの者が何かしらの故障を抱え、今まさに克服しようとする姿に共感の頷きが多くありました。これまで、社会や家族のために身を削りながら第一線で働いてきた証がそこにあったのです。

そして、私の番に。勿論医者通いですが創立100周年記念式典の報告をしました。当日スマイルな男子生徒が案内してくれ、心躍らせながら着席しました。鍾々たる方々の祝辞が終わると記念イベント。ジャズバンド部と綾戸智恵さんとのジョイントコンサートで開幕です。会場は一気にジャズの世界に引き込まれました。ジャズ部の素晴らしい演奏に綾戸さんからも絶賛の拍手がありました。ソロコンサートに入ると、さすが一流



アーティスト。60代後半というのに歌、ピアノ、タップ、表情、話術すべて見事で、何歳になっても青春ドまん中にいる方だなあと魅了されました。我々も、これからの人生を寛容な心と培ってきた信念、希望や勇気を持ち続け永遠の青春を手に入れたものだあと強く思いました。

さて2次会。高砂駅前隠れ家のカラオケ店で美声の競演です。意外な才能の持ち主がいると感心しながら聞き入りました。懐かしい名曲の数々を合唱?し、共に過ごしたあの時代の良き思い出にしばし浸ることができ、次回開催への期待も高まりました。

ハッラツとした姿で再会できることを信じ心地よい余韻を残しながら、おひらきとなりました。

23回生 佐藤組

幹事 西村(内橋)幸子

出席者様、欠席者様、相生会様

高砂高校18回生学年同窓会 第3回目

第3回目の学年同窓会を、5月26日にホテルモンテレ姫路にて開催いたしました。受付開始の11時には、多くの方が集まり、顔を合わせるなり、手を取り合いお互いの健康を喜び合う姿に充ち溢れました。12時には、72名の参加者全員が集まり、喜寿を祝う会として、物故者の黙祷、開会挨拶、乾杯と続き、食事と懇親の楽しい時間が始まりました。楽しい2時間余りが過ぎた頃、全員で校歌斉唱、集合写真を撮り、7年ぶりの喜寿同窓会も幕を迎えました。名残を惜しむ方のために用意した2次会には、当初予定者の40名をはるかに超える49名が参加し、さらに楽しい時間を思い思いのまま、過ごしました。楽しい時間はアツという間に過ぎるもので17時には次回の再会を心に散会しました。なお、次回(第4回目)は嶋田雅生様の幹事で開催することになりました。第4回目も多くの方の参加を願いつつ、皆様のご健勝を祈念してご報告いたします。

第3回幹事一同



時の流れを 感じながら…

株式会社ほけんの匠 取締役

坂口 嘉久 (40回生)



今思えば
という話だ
が割と平凡
な高校生活
を過ごして
いたように
思う。振り

返ると当時は今と違って自由な時間があり夕方学校帰りに好きな音楽を貸しレコード屋(Earlant)に行つてCDやらレコードやら借りてカセットテープにダビングして楽しんだ。

当時はメタルテープが良いからとマクセルやJTDKやAXIAなどいろんなメーカーを聞き比べていた。

祭り馬鹿でもあるので記憶として残っているが当校の独特な文化かもしれないが祭りが盛んな地域で祭り前になると参加者が昼に集められ参加証明書があれば理由ありの休みが取れ大いに祭りを楽しんだものだ。

保育園から同じ中学、高校、同じクラスなんていう男子や女子もいたり、恋人は作れなかったのは残念だったが今でもつながりのある同級生がいてなんてスローで幸せな時間であったか…。

そんな普通の時間が過ごせた良き時代
の高校生活を与えてくれた学校だった。

漫画でいうと『タッチ』や『めぞん一刻』などラブコメが流行った、真つ赤な夕焼けが見られる時間と空気がそこにはあったと思う。

卒業後、大学受験に失敗し、19歳から祖父の保険代理店で働いて、28歳の時引継ぎ、同級生や地域の皆様に支えられ、曾根小学校PTAや高砂青年会議所、ロータリークラブなどに入会し当校卒業生と本当にいろいろな場でお会いし、諸先輩のお力もいただきました。当校の歴史と皆様のご活躍を本当に感じました。

平成18年に法人化し有会社ラッキー保険事務所を設立。今現在、全国約130名の従業員を誇る 株式会社ほけんの匠 取締役として営業にまた役員として精一杯頑張っています。

高校時代と違い、激流の時間軸の中で仕事をしていますが、多くの仲間をこれからも迎え入れ、一人でも多くのお客様と地域(ふるさと)の一助になれる仕事を続けていきたいと思っています。また、感謝を込めて

自分のでき
ることを地
域の皆様や
私に関わっ
ている人々
に恩返しが
できればと。
お客様と
地域と母校
諸先輩、同
級生に最大
級の感謝を。



茶道に親しんで 今を生きる

一般社団法人茶道裏千家淡交会
東播支部幹事長

上田 美幸 (29回生)



昭和52年
卒業、48年
が過ぎまし
た。高校時
代は国鉄高
砂線で通学
をしました。

1時間に1本程の単線列車でしたので規則正しく毎日同じ時間で真面目に3年間を過ごしました。高校時代、廊下の端にありました格子戸の向こうのお茶室に興味を抱きつつ列車の都合上入部もせずに卒業し大学入学と同時にご近所の茶道教室へ通い始めました。憧れの世界へと一歩を踏み入れました。知らなかった日本文化を学ぶ事の楽しさやお客様にお茶を一服差し上げ嬉しそうな顔を見る喜びを知りました。和服を身に装う事も嬉しい事でした。季節の移ろいをお道具等の取り合わせで表し感じ得る事に驚きました。四季おりおりのある美しい日本で400年以上続いている伝統文化にワクワクとこの道に誘われました。

そして、裏千家淡交会青年部に入会し同世代の方々との交流の場がより一層学びを深めました。

時を経て、平成13年6月23日から7月

3日第100回記念茶道裏千家友好訪中団、商船三井客船「ふじ丸」でお家元様に同行し中国へと行きました。北京の人民大会堂での友好茶会を行い中国から伝わったお茶ですが、日本で茶道として確立し中国で献茶を行う日本文化の素晴らしさに改めて感動致しました。

また、平成18年2月12日から18日『ブツタガヤ献茶式随団』15名のひとりとしてお家元様に随行致しました。インドのマハボディ寺院でお釈迦様が悟りを開いた菩提樹の下でお家元様は地面に座しお茶を一服奉げられました。茶禅一味と言われますが、まさしく仏教の聖地で行なわれた献茶式に言いようがない感動と、この機会に巡りあえた有難さに感謝致しました。

令和7年から茶道裏千家淡交会東播支部長を、相生会会長の西中亮二様にお務め頂いて、同じく副会長の私が幹事長として支部発展の為に努めさせて頂きます。これも不思議なご縁です。

好きな事を楽しませて頂く喜びを感謝して世界に誇る日本文化を次世代に継承出来ますように精進してまいります。



地域の話題に関わりながら

後輩に思うこと

BAN-BAN ネットワークス(株)
コンテンツ事業部次長

大竹 良次 (41回生)



私が過ごした高校時代は、日本が好景気で沸いていた頃。第二次ベビーブーム

世代とも重なり、多くの同級生がいる。学年で12クラス500名を超え、高校全体では、1,500名がいた。高砂高校へ入学するきっかけは、志願変更から始まる。幼い頃から、なりたい職業を決めており、単なる通過点と考えていた高校への志願は、中学校の担任の先生に進学先を委ねていた。当初は別の高校を受験する予定であったが、当時、中学生は丸坊主という時代。私は丸坊主が苦手であったため、一刻も早く髪の毛を元通りにしたい思いが強く、予定していた受験先は、高校3年間丸坊主と聞き、慌てて志願変更に踏み切り、今こうして卒業生として執筆している。

当時は校訓の「自主創造」がそのまま校風として継承され、校則で縛られたりする事もなく、自由な高校生活が送られたと記憶している。特にスポーツが盛んで、ふたつ上の先輩の活躍もあり、夏の高校野球兵庫大会では、優勝候補のシード校に勝って

決勝まで進み、明石球場まで応援にいった事を今でも鮮明に覚えている。残念ながらあと一步というところで甲子園初出場は果たせなかったが、他に柔道やバレーボール、水泳など数々の全国レベルで活躍する部活動が盛んであった。

私は部活動ではなく、地域活動として地元にある公民館のサークルに所属し、当時流行っていたミニFM局の運営に携わっていた。今風に例えると音声版ユーチューバーといえは通りがいいか。加古川市が絡むイベント放送や、お祭りを盛り上げる番組などを作り、幼い頃から抱いていた職業に少しずつ近づいていた様に思う。

その後、夢が叶い神戸や大阪のラジオ局勤務を経て、今の仕事に携わる事になるが、やはり地域密着を掲げるケーブルテレビ局とあって、地元では、思わぬ所で同級生と再会をしたり、卒業生とわかつたりする事が多い。居酒屋のオーナー、警察官、母校の先生もいる。先日仕事関係の飲み会で、話の流れから卒業生だと知った事もあり、世間は狭いとの話題になったばかりだ。

今は後輩で活躍している女性音楽ユニットや歌手、タレントとお仕事をしている。ある歌手は、私が担当していた番組に在学中、生徒会長として出演したとの思い出を明かす。昨年は、創立100周年記念事業の中で、式典オープニング映像の制作に関わらせて頂き、戦前からの写真や卒業アルバムに触れ高砂高校の歴史の重みを感じた。

私は四半世紀前に結婚し、4人の子育て中である。上は大学生から小学生までいる。少子化と言われ久しいが、我が家にとっては今までの日々忙しい事が日常であり、



息子3人は幼い頃から地元少年サッカーのクラブチームに所属し、送迎やお世話などでほぼ10年間は仕事との両立をしながらの生活であった。また子ども

達の進学の話になった時には、我が母校を自ら志願する事もなく、時代も変われば高校の評価も変化し、高砂高校を目標に志願する中学生が増えればと願うばかりである。夏の時期になると高砂市野球場から県大会の生中継となるが、高砂高校野球部が出場する試合には、母校の応援に力が入ってしまう自分に気づく。

これからもあらゆる分野で活躍する在校生や卒業生を側面から応援していきたい。

同窓会より

同窓会を計画される場合は、補助がありますので申し出てください。

シンボルマークの由来

昭和50年代前半、カバンの販売に従事していた本校第17回卒業生の西中亮二氏が、学校から

生徒が喜んで持つようなカバンの考案を依頼されデニム生地の特トバッグとマジソン型のポストンバッグを提案し、またそれに似合うイニシャルを考案し、提示して採用された。

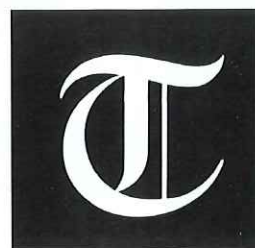
ローマ字のTの花文字から余分な装飾をはずし、学生らしくスッキリさせてデザインしたものである。

それ以降、各クラブが、それぞれに学校、クラブのシンボルマークとして、ユニ

フォームやヘルメットに採用するようになつて広がり、現在に至っている。

教頭

川畑俊博



部活動報告

◆男子バスケットボール部 〜RedBulls〜

顧問 吉田征司・熊谷愛

男子バスケットボール部は3年生6名、2年生8名、1年生11名合計25名の選手と6名のマネージャーで「県大会ベスト7」「近畿大会出場」を目標に日々活動しております。全国でも珍しい「バスケットボール×動作解析」をチームの特徴としており高砂高校独自のバスケットボールで兵庫県上位高校のみならず、大阪・香川・岡山・広島・京都・長崎など兵庫県近隣の上位校とも対戦し力を高めています。また、バスケットボールの力だけでなく人として成長することも目標としており、「凡事徹底」「獅子搏兔」「与えられる人」という3つのキーワードでバスケットボール部を築立った後も自身の道を自身で切り開くことができる人間になるように取り組んでいます。今年度の成績は、県新人大会県ベスト16、県総合体育会ベスト16、U18東播地区リーグ1部優勝、その他地区大会優勝など多く実績を残すことができております。

今後も兵庫県に「高砂旋風」を巻き起こせるよう日々、選手・マネージャー・顧問それぞれの立場で努力していきます。



◆ダンス部

顧問 辰巳瑠萌・早山順子・五島和徳

ダンス部は、現在1年生3名、2年生9名の計12名で活動しています。部員は皆、ダンス

が大好きで、

一人ひとりが

個性を活かし

ながら、日々

切磋琢磨して

います。私た

ちダンス部の

主な活動とし

て、県大会や

文化祭、学校

外のイベント

などに参加し

ており、今年

は全国規模の

大会であるAll Japan Dance Festivalにも出



場しました。大会では創作ダンスに力を入れ、独自の表現や振り付けを考え、観る人を惹きつけるパフォーマンスを目指しています。

また、文化祭ではリズムダンスを披露し、観客の皆さんに楽しんでいただけるよう、ポップな曲に合わせた明るいステージを届けています。これに加えて、テレビ番組のダンス企画にも積極的に参加し、部員全員が多様なダンスジャンルや表現力を磨くために挑戦を続けています。

そして、単にダンス技術を向上させるだけでなく、仲間と一緒に作品を作り上げる喜びや達成感も大切にしています。

ダンスを通じて自己表現を深め、観る人と感動を共有することを目指してこれからも全力で頑張ります。どうぞ応援をよろしくお願いいたします。

生徒会活動

令和6年10月26日

高砂市文化会館において第25回高砂観月能が開催され、高砂高校からも謡曲高砂の合唱に地域の皆様と参加してきました。

会場では能面・衣装着装体験やお茶席もあり初めての体験でよい経験となりました。



文化祭

体育祭



協賛金ご入金者

ご芳名一覽

(敬称略・卒業年別旧姓50音順)

旧職員	伊藤 正廣	石川 幸代	白井 英昭	砂川 幸夫	坪田 良一	西尾 美昭	長谷川 靖	増尾 二靖	森村 美治	山田 道治	昭和17年	上村 指物まさ子	中作 (松本) 照子	昭和18年	永田 (小南) 美津子	昭和23年	桜井 (滝川) 孝子	昭和24年	安田 (櫻) 婦美	田畑 (木村) 愛	昭和27年	藤原 成種	昭和28年	片岡 片岡登志子	田中 川嶋賀代子	沼田 (衣笠) た多	中村 (沢田) 史子	今井 (玉井) 玲子	昭和29年	鷺尾 翹	昭和30年	梅谷 進	小村 小野多鶴子	岡田 高彦	灘 (川添) 歌子	小西 (木下) 美智子	紫安 (黒石) 文子	玉井 晴彦	寺井 晴彦									
昭和31年	谷川 (堀) 美佐子	長谷川 (三村) 節子	坂口 (森田) 奈津子	井上 正儀	槽谷 格	内藤 (門脇) 美智子	櫻井 (小林) 澤子	北野 (藤尾) 節子	柳本 (北隅) 英子	柴田 (八田) 澄子	福田 正明	昭和33年	猪俣 謙	鎌田 (岩崎) 幸子	鎌田 敏生	今西 (鎌谷) 照代	工桑 善通	廣瀬 (桶田) 有加子	清原 (白山) 秀子	吉田 (田中) ヒロミ	土田 輝晃	戸知 恵美子	松谷 (灘) 照子	城西 (松平) 淳子	昭和34年	荒木 宏子	宮永 (井上) 美佐子	尾崎 久矩	大崎 設男	金澤 (岡田) 悦子	岡崎 (斉藤) 弓子	山下 (田中) 瑞江	田路 (寺本) 曉美	永田 一紘	新浜 (橋本) 実子	堀内 (船引) 順子	昭和35年	浅原 博文										
昭和36年	坂口 (荒木) 千恵	大西 正子	村津 (木野本) 貞子	小西 高明	松本 (尖戸) 美樹	松井 (須々木) 素子	高橋 幸敏	森岡 (寺岡) 一世	永井 一良	柳田 (西山) 茂子	藤田 (信田) 磯代	宮脇 (浜野) 満里子	樋口 克亘	前田 (福永) 高子	松山 (細谷) 輝美	松原 学	松本 務	井端 正晴	沖中 (石塚) 瑞子	岩見 祥彰	清原 佐恵子	浜田 (小谷) 朔子	砂川 敏子	荒井 (中須) 教子	池村 (永田) 昭子	北野 (原) 幸子	福本 司郎	古川 雅昭	久納 (増田) 敬子	勢田 (松下) 弘美	島本 (松田) 宣子	門野 (圓山) 宣子	三木 篤志	水野 寅治郎	金谷 (養畑) 悦子	中村 (吉田) 智恵子	昭和37年	有本 邦夫	永井 (大村) 智子	堀井 (沖中) 幸子	萩原 (柴田) 捷子	岩野 (内藤) 聡子	釜谷 (山本) 博司	三浦 (赤尾) 昭子	北野 (梶原) あき子	川上 隆徳	河合 宇士郎	岸上 忠彰
昭和39年	香田 武	松本 (佐伯) 八重子	鳥井 康司	金沢 (永野) 節子	長谷川 秀壽	浜谷 善彦	猪股 (田中) 淳子	久本 (広岡) 弘美	廣瀬 明正	松田 (藤原) 鈴代	圓山 善輝	植田 (三井) カツミ	渡辺 (三木) 光子	五十嵐 (赤松) 美智子	天野 啓三	荒木 真弓	新井 (新井) 福子	住野 (有本) 須也子	平山 (岩崎) 憲子	久保田 (岩崎) 富喜子	加藤 (大崎) 智恵子	大谷 忍	白上 (奥木) 鈴子	覚野 睦男	加藤 (川嶋) 千代美	和田 (川西) 俊江	川端 弘行	紀伊 典博	久下 典明	原 (小林) 加代子	藤井 (鹿間) 宏子	庄司 郁雄	関々木 雄	高田 光男	秋山 (谷村) 繁子	名和 知津子	中井 義郎	中谷 強	阿江 (西川) 文子	西田 亮朗	西田 克二	深田 一夫	後藤 (藤本) 順子	渡辺 哲良	内田 (青木) 静枝			
昭和40年	松本 (庵原) 弘子	津倉 (稲田) 日出子	大川 八重子	角本 孝夫	河合 悟	小嶋 繁昭	近澤 (佐々木) 順子	三枝 (鷹居) 妙子	富田 隆平	荻野 (間) 一代	近藤 (藤田) 豊子	松嶋 正和	島内 (松藤) 慶子	小林 (安田) 博美	山口 (山口) 美恵子	山野 博	吉岡 敬男	荒木 洋	松村 (市川) 初美	大西 栄家	荻野 正文	三木 (木村) 泰子	佐伯 康作	正保 敏恵	高松 哲大	樋口 (武田) 道代	西尾 真由美	浜田 (浜田) 慶子	増本 (藤原) ひろみ	藤本 誠	岡田 (真鍋) 恵子	増本 盛美	松本 健次	山下 清和	山中 正博	横山 良夫	吉田 清郎	米原 治郎	石原 定夫	青木 (檀本) 和子	萬谷 (片山) 静代	河合 則子	大谷 (小嶋) 則子	小林 婦美子	上田 (鹿間) 美鶴	南原 (末次) 紀美子	松尾 (滝本) ひろ子	
昭和42年	松本 (庵原) 弘子	津倉 (稲田) 日出子	大川 八重子	角本 孝夫	河合 悟	小嶋 繁昭	近澤 (佐々木) 順子	三枝 (鷹居) 妙子	富田 隆平	荻野 (間) 一代	近藤 (藤田) 豊子	松嶋 正和	島内 (松藤) 慶子	小林 (安田) 博美	山口 (山口) 美恵子	山野 博	吉岡 敬男	荒木 洋	松村 (市川) 初美	大西 栄家	荻野 正文	三木 (木村) 泰子	佐伯 康作	正保 敏恵	高松 哲大	樋口 (武田) 道代	西尾 真由美	浜田 (浜田) 慶子	増本 (藤原) ひろみ	藤本 誠	岡田 (真鍋) 恵子	増本 盛美	松本 健次	山下 清和	山中 正博	横山 良夫	吉田 清郎	米原 治郎	石原 定夫	青木 (檀本) 和子	萬谷 (片山) 静代	河合 則子	大谷 (小嶋) 則子	小林 婦美子	上田 (鹿間) 美鶴	南原 (末次) 紀美子	松尾 (滝本) ひろ子	
昭和44年	春名 (並河) 伸子	長谷川 丘	石原 (間) 美紀子	木村 (藤村) 道子	水島 (前野) 和美	増尾 孝二	松田 隆作	森本 均	田中 (安田) 恭子	中田 (山本) 眞理子	瀬谷 (高島) 由香里	竹中 仁	寺坂 利一	中小路 光治	中作 正公	矢根 (長谷川) 栄子	曾我 (広岡) 和代	佐伯 (福永) 安紀	藤本 嗣仁	宮脇 修	伊藤 忠親	白坂 隆介	長谷川 令江	花房 弘明	村上 (原) 純子	星 富佐子	松本 元二	伊藤 豊久	石塚 洋介	西村 (内橋) 幸子	今井 (梅本) 美代子	永井 (大西) 百合子	龍谷 成司	貴傳 高司	河野 静代	塩井 美子	川崎 (武田) 智恵子	平部 (藤原) はるみ	前田 安隆	夜久 (山本) 陽子	柿本 信嘉	木村 茂雄	永野 勝之	三柴 拓雄	山崎 紀彦			
昭和46年	善積 茂	新見 義朗	川本 隆	橋本 (岸本) 早苗	宮本 (小西) 直美	坂本 順彦	豊田 利則	青木 充弘	遠藤 隆司	高松 (大道) きよみ	田中 (神部) 寿美	小林 郁翁	高橋 尚一	西岡 博	橋本 博	尾崎 (古林) 圭子	内藤 (三宅) 富貴子	村井 伸生	義則 弥	緒方 幸平	小野 (岸本) 美紀子	芝本 敏彦	船橋 佳照	丸山 隆久	安田 孝司	池田 吉弘	乾 秀樹	柳瀬 (大内) 厚子	大歳 正司	岡野 充代	鎌谷 博美	澤田 雅敏	繁田 泰造	安田 (佃) ひとみ	原 修一	松陰 英人	松岡 隆幸	石本 (森岡) 美由貴	井上 陽一	吉田 (井沢) みさお	岩本 英之	上田 佳代子						
昭和48年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和50年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和51年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和52年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和53年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和54年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和55年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和56年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和57年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和58年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和59年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和60年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和61年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和62年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和63年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和64年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和65年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和66年	岸本 高広	高山 幸郎	永田 耕三	外賀 靖	菅田 (松園) 房代	明定 (岸本) 一女	舟橋 (清水) 美紀	浅間 (武川) 範子	谷本 公平	沼田 (松原) 玉枝	西川 賀久	有馬 三恵	上田 誠	小川 善也	大形 眞澄	中村 喜純	衣笠 健二	野々村 (城山) さとみ	高橋 和生	十倉 哲夫	真名子 (藤井) 加代	荒井 圭介	巖 (大辻) 麻里	三木 (鴨) 尚美	伍賀 正	脇田 (高峰) 美佐	藤原 昇二郎	久保 (船江) 孝美	上原 (大屋) 典子	眞榮 陽介	山内 (渡辺) 悟子	嶋谷 秀樹	浜谷 和英	吉田 輝明	小川 哲男	寺元 (木澤) 都子	前田 一郎	白 康之										
昭和67年	岸本 高広																																															

令和6・7年度
相生会役員

会 長	西中 亮二(17回)					
副 会 長	松陰 英人(28回)	上田 美幸(29回)	外賀 靖(29回)	福田 裕文(31回)	大形 真澄(32回)	浜谷 和英(36回)
書 記	春下 充代(44回)					
庶務・会計	奥住 五郎(29回)	石井 圭太(42回)				
会計監査	森本 伸子(相生会事務局)	中崎 裕司(63回)				
	鍋野 和己(33回)	山本 裕司(44回)				
理 事	庄司 武(17回)	前田 安隆(23回)	村井 伸生(26回)	乾 秀樹(28回)	川由 伸一(29回)	小川 善也(32回)
	有馬 三恵(32回)	山本 誠司(33回)	濱中 幹夫(34回)	西岡 央恵(36回)	嶋谷 秀樹(36回)	坂口 嘉久(40回)
	瀧本 孝史(41回)	濱崎 美紀(44回)	桜井 涉(48回)	三浦 貴司(48回)	川本 悦見(50回)	藤原 正悟(52回)
	根谷 桃子(58回)	高橋 理沙(59回)	矢野まりあ(65回)	太田 早紀(67回)	永友 寛大(68回)	穂積 摩耶(68回)
	奥谷 航大(69回)					
校 内 理 事	吉森 学(46回)	中崎 裕司(63回)	吉川 七穂(72回)	永吉 梓(72回)		
評 議 委 員	上出 正彦(学校長)					
顧 問	岩見 祥彰(13回)					

令和5年度 相生会 収支決算報告書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(1) 一般会計

収入総額 7,079,048 円 支出総額 2,414,594 円 差引残額 4,664,454 円(次期繰越金とする)

(収入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
前年度から繰越	3,288,200	3,288,200	
会 費	2,880,000	2,790,800	月400円×12ヶ月×約581名
准会員入会金	1,000,000	1,000,000	新入生@5,000円×200名
雑 収 入	30,000	48	寄附金・預金利息・総会・役員会徴収金
合 計	7,198,200	7,079,048	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
総 会 費	100,000	41,369	総会開催経費
会 議 費	100,000	17,060	役員会開催経費
卒業記念品代	200,000	114,000	真空二重取手付きマグカップ(ネイビー) ココカフェ 250ml
通 信 費	20,000	18,900	往復はがき代 (4/27総会用)
出張 費	30,000	0	
会報発行費	1,300,000	1,205,113	サトハ(発行費約240万円のうち半分の120万円を同窓会費から)
母校援助金	500,000	460,900	運動場東側剪定作業・ゴールドクレスト等剪定作業
慶 弔 費	80,000	0	
同窓会補助費	300,000	35,000	1クラス5,000円 7クラス
会館維持費	100,000	0	
広 報 費	200,000	0	
事業費・記念積立	500,000	500,000	特別会計 記念積立金へ
事務費・雑費	900,000	22,252	
予 備 費	368,200	0	
合 計	4,698,200	2,414,594	

(2) 特別会計

収入総額 25,340,187 円 支出総額 8,500,000 円 差引残額 16,840,187 円(次期繰越金とする)

(収入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
前年度から繰越	23,839,959	23,839,959	
入学時記念事業協力金	1,000,000	1,000,000	新入生@5,000円×200名
記念積立金	500,000	500,000	一般会計より
卒業時入会金	0	0	卒業生@5,000円×0名(令和2年度より廃止)
雑 収 入	200	228	預金利息 他
合 計	25,340,159	25,340,187	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
100周年事業協力金	20,000,000	8,500,000	
合 計	20,000,000	8,500,000	

監査報告

上記の決算について、関係書類などを監査の結果、適正に処理されている事を確認しました。

令和6年4月19日

会計監査

西村 文社

会計監査

福田 裕文

令和6年度 相生会 収支予算書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

(1) 一般会計

科 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
前年度から繰越	4,664,454	3,288,200	
会 費	2,880,000	2,880,000	月400円×12ヶ月×600名
准会員入会金	1,000,000	1,000,000	新入生@5,000円×200名
雑 収 入	30,000	30,000	寄附金・預金利息・総会・役員会徴収金
合 計	8,574,454	7,198,200	

(支出の部)

科 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
総 会 費	100,000	100,000	総会開催経費
会 議 費	100,000	100,000	役員会開催経費
卒業記念品代	200,000	200,000	
通 信 費	20,000	20,000	郵送料
出張 費	30,000	30,000	
会報発行費	900,000	1,300,000	
母校援助金	1,000,000	500,000	
慶 弔 費	80,000	80,000	
同窓会補助費	300,000	300,000	同窓会実施に対する補助 1クラス5,000円×クラス数
会館維持費	100,000	100,000	
広 報 費	200,000	200,000	
事業費・記念積立	4,000,000	500,000	
事務費・雑費	900,000	900,000	事務費、パソコン、プリンター、インターネット代等
予 備 費	644,454	368,200	
合 計	8,574,454	4,698,200	

(2) 特別会計

科 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
前年度から繰越	16,840,187	23,839,959	
入学時記念事業協力金	1,000,000	1,000,000	新入生@5,000円×200名
記念積立金	4,000,000	500,000	一般会計より
雑 収 入	200	200	預金利息 他
合 計	21,840,387	25,340,159	

(支出の部)

科 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
100周年事業協力金	10,000,000	20,000,000	
合 計	10,000,000	20,000,000	

令和6年度 教職員人事異動等一覧

編集後記

『相生』33号を発行するにあたり、原稿を寄せてくださった皆様は心よりお礼申し上げます。母校へのメッセージがありましたら表紙上部のメールアドレスへお送りください。この会報が、今後も新たなつながりや再会のきっかけとなれば幸いです。

転 出 者			
職 名	氏 名	教 科	転出先等
教諭(再任用)	奥村 忠幸	理 科	退職
教諭(再任用)	横谷 仁志	数 学	(継続)
教諭(再任用)	前田 秀司	英 語	(継続)
教 諭	松原 育子	英 語	転出(高砂南)
教 諭	井戸 英剛	地 歴	転出(和田山)
教 諭	原田 健一	音 楽	転出(西はりま特支)
教 諭	松島 一夫	地 歴	転出(農業(定))
主 幹 教 諭	石井 圭太	保健体育	転出(松陽)
教 諭	澤野 聖太	数 学	転出(播磨南)
教 諭	藤本 裕介	英 語	転出(東播工業)
臨時講師	木村めぐみ	国 語	(継続)
臨時講師	松本 典真	国 語	採用(松陽)
臨時講師	坂田 悠紀	保健体育	(継続 職名変更)
任期付講師	三好 佑季	理 科	採用(三木)
臨時実習助手	中村佳寿美		転出(大久保中)
教 諭	松谷 浩樹	理 科	転出(明石北)
主 査	西田 晶子		転出(東はりま特支)
臨時事務職員	角太 治美		(継続)
臨時校務員	芝田 直輝		(継続)
臨時校務員	神津 悦子		転出(伊川谷)
講師(非常勤)	大野 博史	数 学	(継続)
講師(非常勤)	大西 一久	理 科	(終了)

講師(非常勤)	神戸 弘樹	英語(美術)	(継続)
講師(非常勤)	中川 聖久	英語(書道)	(継続)
講師(非常勤)	井戸 葉子	英 語	(継続)
講師(非常勤)	中原 伸子	情 報	(継続)
講師(非常勤)	福田 祐司	英 語	(終了)
講師(非常勤)	吉田 奈未	保健体育	(継続)
講師(非常勤)	市村 泰隆	社 会	(継続)
講師(非常勤)	増野千代子	茶草道	(継続)
就学支援金事務補助員	平岡 早紀		(終了)
県立学校業務支援員	平岡 早紀		(継続)
学校事務補助員	森本 伸子		(終了)

転 入 者			
職 名	氏 名	教 科	前所属等
教諭(再任用)	横谷 仁志	数 学	
教諭(再任用)	前田 秀司	英 語	
教 諭	大澤 典子	英 語	(高砂南)
教 諭	吉岡 篤史	地 歴	(松陽)
臨時講師	吉川 七穂	音 楽	(新規)
教 諭	原西 孝哉	地 歴	新規採用
教 諭	松下 敦史	保健体育	(猪名川)
教 諭	五島 和徳	数 学	新規採用
教 諭	小林 祥喜	英 語	(三木)

臨時講師	木村めぐみ	国 語	(継続)
教 諭	赤松 弘基	国 語	組合専従復帰
臨時講師	永吉 梓	保健体育	(新規)
任期付講師	北本 敦志	理 科	(小野)
臨時実習助手	坂田 悠紀		(継続 職名変更)
臨時講師	山本 翔	理 科	(東播磨)
臨時講師	川崎 暁	理 科	(明石北)
主 任	富原 裕史		(芦屋)
臨時事務職員	角太 治美		(継続)
臨時校務員	芝田 直輝		(継続)
臨時校務員	村田 文子		(相生産業)
講師(非常勤)	大野 博史	数 学	
講師(非常勤)	山本 誠司	理 科	(新規)
講師(非常勤)	神戸 弘樹	英語(美術)	
講師(非常勤)	中川 聖久	英語(書道)	
講師(非常勤)	井戸 葉子	英 語	
講師(非常勤)	中原 伸子	情 報	
講師(非常勤)	片岡 良子	家 庭	(新規)
講師(非常勤)	吉田 奈未	保健体育	
講師(非常勤)	市村 泰隆	保健体育	
講師(非常勤)	増野千代子	茶草道	
就学支援金事務補助員	森本 伸子		(新規)
県立学校業務支援員	平岡 早紀		